

製品名: TWIK-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19446**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNK7
別名	KCNK7; Potassium channel subfamily K member 7
遺伝子 ID	10089.0
SwissProt ID	Q9Y2U2
免疫原	TWIK-3 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 170-250

背景

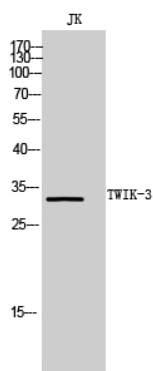
この遺伝子は、2つのポア形成Pドメインを含むカリウムチャネルタンパク質スーパーファミリーのメンバーをコードしています。この遺伝子産物が機能的なチャネルであることは示されていませんが、活性には他のポア形成を伴わないタンパク質を必要とする可能

性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: おそらくカリウムチャネルのサブユニット。タンパク質が小胞体に留まるため、in vitro ではチャネル活性は観察されませんでした。細胞膜に到達するには、未知のパートナーと結合する必要がある可能性があります。類似性: 2つのポアドメインを持つカリウムチャネル (TC 1.A.1.8) ファミリーに属します。サブユニット: ホモ二量体。

研究分野

-

画像データ



TWIK-3 ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。